

令和4年度 指定管理業務 事業評価書

| | | | | | |
|--------|--|--|-------------------------------------|--|--|
| 施設名 | 袖ヶ浦市農畜産物直売所 | | | | |
| 施設担当課名 | 農林振興課 | | | | |
| 指定管理者名 | 君津市農業協同組合 | | | | |
| 指定期間 | 令和4年4月1日～令和8年3月31日（5年間のうち1年目） | | | | |
| 利用料金制 | <input checked="" type="checkbox"/> 導入 <input type="checkbox"/> 一部導入 <input type="checkbox"/> なし | | ※「一部導入」は利用料金制を導入しているが指定管理料を支出している施設 | | |

1 施設の概要

| | | | | | |
|----------|---|--|--|--|--|
| 施設の所在地 | 袖ヶ浦市飯富1635番地1 | | | | |
| 施設の設置目的 | 消費者に地元で生産される新鮮で安全な農畜産物を提供し、地産地消を促すとともに観光直売型農業を推進し地域農業の振興を図る。 | | | | |
| 指定管理業務内容 | (1) 農畜産物直売の利用の許可に関する業務 (2) 農畜産物直売の利用代金の収納に関する業務 (3) 農畜産物直売の施設及び設備の維持管理に関する業務 (4) 農畜産物の販売及び計画的な生産指導に関する業務 等 | | | | |

2 利用状況

| 項目 | 今年度 計画値 | 今年度 実績値 | 対計画比 (%又は増減) | 前年度 実績値 | 対前年度比 (%又は増減) |
|--------------|------------|------------|-----------------|------------|------------------|
| 開館日数（日） | 349 | 349 | 100.0% | 349 | 100.0% |
| 施設利用者数（人） | 324,705 | 304,355 | 93.7% | 304,988 | 99.8% |
| 貸室（設備）稼働率（%） | 0.0% | 0.0% | #DIV/0! | 0.0% | #DIV/0! |
| 事業開催数 | 0 | 0 | #DIV/0! | 0 | #DIV/0! |

3 施設の経営状況

（単位：千円）

| 項目 | 今年度 計画値 | 今年度 実績値 | 対計画比 (%又は増減) | 前年度 実績値 | 対前年度比 (%又は増減) |
|----------------|------------|------------|-----------------|------------|------------------|
| 指定管理料 | 0 | 0 | #DIV/0! | 0 | #DIV/0! |
| 利用者当たり管理コスト | 1.67 | 1.76 | 105.2% | 1.68 | 104.4% |
| 利用者当たり自治体負担コスト | 0.00 | 0.00 | #DIV/0! | 0.00 | #DIV/0! |

[評価結果]

| 評価項目 | 評価基準 | 自己評価 | 担当課評価 |
|---------------------------|---|------------|----------|
| I 履行の確認 | | | |
| 1 施設全般の管理運営に関する業務 | | | |
| (1) 職員配置 | 基準に基づき、適切な人員配置がされたか | C | B |
| (2) 職員研修 | 業務に必要な研修・教育が適切に行われたか | B | B |
| (3) 利用促進業務 | 利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか | A | A |
| 2 利用者に関する業務 | | | |
| (1) 利用状況 | 利用者数・稼働率等は、適切な水準であるか | B | B |
| (2) 利用[使用]料金 | 利用料金の設定、利用[使用]料金の徴収・減免・還付の手続きは適切であるか | B | B |
| 3 保守点検並びに清掃等業務等 | | | |
| (1) 保守点検業務 | 基準に基づき、保守点検が適切に行われたか | B | B |
| (2) 清掃業務・維持管理業務 | 基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか | B | B |
| (3) 保安・警備業務 | 基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか | B | B |
| (4) 修繕業務 | 基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか | B | B |
| 4 事業の実施に関する業務 | | | |
| (1) 指定事業 | 基準に基づく事業が適切に行われたか | B | B |
| (2) 自主事業 | 施設の目的に沿った自主事業が適切に行われたか | C | B |
| 5 個人情報の取扱 | 個人情報の取扱いが適正に行われたか | A | A |
| I の総括 | 当該施設評価項目数 《標準評価項目数 12 個》 | 12個 | B |
| * 指定管理者の自己評価 | 昨年に引き続き人手不足が解消されなかったが、時間を有効活用し、毎月の定例イベントの実施と各種売り出しへの参加で、店舗PRと積極的な集客を行い、店舗の売上向上に努めた。 | | |
| * 施設担当課の評価 | 理想的な職員数ではないものの必要最小限の人員で運営されている。また、施設管理については、大きなトラブルもなく、概ね良好に管理されている点を評価したい。 | | |
| II サービスの質の評価 | | | |
| 1 利用者満足度 | 利用者アンケートを実施し、その結果は妥当であるか | B | B |
| 2 維持管理業務 (清掃、備品等の維持管理) | 日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか | B | B |
| 3 運営業務 (貸出状況、接客対応等) | 備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか | B | B |
| 4 指定・自主事業(事業内容の質) | 実施された事業内容は、質の高いものであったか | B | B |
| II の総括 | 当該施設評価項目数 《標準評価項目数 4 個》 | 4個 | B |
| * 指定管理者の自己評価 | 計画していたイベント時のアンケートは、悪天候やコロナウイルスによる職員の欠員などにより実施ができなかったが、店内での意見回収を行い店舗の運営改善に反映させた。 | | |
| * 施設担当課の評価 | 感染症対策を行いながら、創意工夫をしたイベントを開催するなど取組について評価できる。イベント時のアンケートは実施できなかったものの、利用者の声を聞くためにも、今後も継続的にアンケートを行ってほしい。 | | |

| 総合評価 | | I・II を合わせた総合評価 | 自己評価 | 担当課評価 |
|---------------------|-------|--|------|-------|
| | | | B | B |
| 総合評価に係る 総括意見 | 指定管理者 | 少ない人数でできる限りの事業に取り組み、生産者の販売実績も昨年を超え、更なる生産者の所得向上に向け、事業に取り組んだ。 | | |
| | 施設担当課 | 新型コロナウイルス感染症の対策を行いながら、創意工夫をしてイベントを開催するなど、意欲をもって取り組む経営姿勢が見られた。来店客数は前年度を多少割り込むものの、堅調に推移している。光熱費等が高騰しているため、工夫しながら今後も運営を継続してもらいたい。 | | |
| その他特記事項 (成果・改善等) | 指定管理者 | 実施できなかったアンケートを計画的に実施するとともに、お客様と組合員の要望を参考に、より良い店舗づくりに努めたい。 | | |
| | 施設担当課 | 少ない従業員数で、利用者の目線に立って店舗運営を行う姿勢について評価できる。リピーターへの配慮ある対応も大切であるが、新規利用者獲得に向けて、SNS等を積極的に用いて情報発信し、新規利用者の獲得に繋げてもらいたい。 | | |

《評価区分》

| | |
|-------|--|
| ①評価基準 | A (優良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である B (良好) = 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である C (課題含) = 協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある D (要改善) = 協定書等の基準が遵守しておらず、改善の必要な内容である |
| ②総括 | A (優良) = 評価基準がすべてB以上であり、かつAが過半数以上である B (良好) = 評価基準がすべてC以上であり、かつB以上が8割以上である C (課題含) = 評価基準がすべてC以上である D (要改善) = 評価基準にDが含まれている |
| ③総合評価 | A (優良) = 総括がすべてB以上であり、かつAが1つ以上である B (良好) = 総括がすべてB以上である C (課題含) = 総括がすべてC以上である D (要改善) = 評価基準にDが含まれている |